

Title	「東アジア伝統医療文化の多角的考察」研究会
Author(s)	大形, 徹
Citation	中国研究集刊. 2015, 61, p. 29-33
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/58693
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

〔研究会通信〕

「東アジア伝統医療文化の多角的考察」研究会

大形 徹

一、活動の目的

東アジアの伝統医療は、鍼術、灸法、按摩マツサージ、骨接ぎの諸技法、方剤調合を中心とする薬物療法を中心として大いに発展し、道教、仏教、陰陽道における宗教的な呪法、内丹、瞑想等の身体技法、あるいは世俗に流行した長寿達成の養生術、丹薬、年中行事に組み込まれていく民間信仰等々と相互連環することで特有の文化複合体を構築してきた。そこで、伝統医療文化を総合的に研究するためのフレームワークとして、医学史家だけでなく、現代医薬学の専門家や臨床医、鍼灸師と思想、宗教、科学の諸分野で文献研究を推進する研究者を一堂に集めて、文理横断的な視点から多角的、複眼的な

考察を繰り広げ、医療文化の総体に構造的把握を試み、理論的特質や可能性を探る。そして、日中韓三国の伝統医学や医学史研究の現状を踏まえて、統合医療、チーム医療といった今日的な動向のなかで鍼灸医療や漢方薬研究が歩むべき道を討議し、伝統医学の立場から医療文化の未来像を提言する。（研究会報告書より）

二、創立年

二〇一四年（三年間限定）

三、会長（代表者）および主なメンバー

大形 徹（代表者・班長）（大阪府立大学）

武田時昌（副班長）（京大人文学部研究所）、高井たかね（同）、Bill Mark（麦文彪）（同）
 京都大学 趙ウニル（文学研究科・博士後期課程）、小泉昭夫（医学研究科教授）、原田浩二（医学研究科・准教授）
 その他 安部郁子（財）研医会・研究員、家本旬二（森ノ宮医療学園専門学校・教員（大阪府立大学人間社会学研究科修士課程））、池内早紀子（漢方薬店経営（森ノ宮医療学園専門学校））、王財源（関西医科大学）、桐浴眞智子（大阪医科大学）、島山奈緒子（明治国際医療大学大学院・博士後期課程）、多田伊織（鈴鹿医療大学・非常勤講師）、中吉隆之（関西医科大学）、葉山美知子（鎌倉早見美容芸術専門学校）、平地治美（千葉大学）、前田その子（前田鍼灸院）、松岡尚則（財）研医会）、真柳誠（茨城大学）、三鬼丈知（近畿大学・非常勤講師）、横山浩之（森ノ宮医療学園）、梁嶸（国際日本文化研究センター・外国人研究員（北京中医药大学基礎医学院中医診断系・教授））、渡邊真弓（新潟大学（筑波技術大学・客員研究員））、奈良上眞（大阪医療技術学園専門学校）、森村謙一（薬学博士）、岩間眞知子（日中茶文化研究家）、半井英江（京都医療文化サロン協賛会・代表）、相川佳予子（奈良女子

大学）、今井環（大阪府立大学大学院・博士後期課程）、闇淑珍（帝京大学）、郭秀梅（順天堂大学）、熊野弘子（関西大学）、古藤友子（国際基督教大学）、酒井シヅ（順天堂大学）、坂出祥伸（関西大学・森ノ宮医療大学）、館野正美（日本大学）、長野仁（森ノ宮医療大学）、名和敏光（山梨県立大学）、蓑輪圭一郎（京都大学）、宮崎順子（関西大学）、宮島一彦（同志社大学）、渡邊賢一（関西大学）、松木宣嘉（四国医療専門学校）

四、主な活動状況・成果

二〇一四年五月一〇日

○美を探る医療 美容医療に関する東西文献選読 発表者 武田時昌（人文科学研究所・教授）

○中国伝統医療文化における鍼灸と美容の共生 発表者 王財源（関西医科大学・准教授）

○ルネサンスの美人論―十五・十六世紀の西洋肖像画に見られる美人観の変遷 発表者 中江彬（大阪府立大学・名誉教授）

七月六日

○医学史研究の最前線（1）恥さらしの私の人生―出版から 発表者 奥澤康正（眼科医、京都医学史研究

会・副会長) 討論会「気の流れ―身体技法のコスモロジー―」

○『入葉鏡』と煉丹術の原理 発表者 加藤千恵(立教大現代心理学部・准教授)

七月二二日

○第一回伝統医療文化国際ワークショップ「東医宝鑑に見る日韓医学交流」

○東医宝鑑の日本の受容 発表者 吉田和裕(順天堂大学大学院医史学研究室・O.D.)

○東医宝鑑と東アジア 発表者 申東源(韓国科学技術院(KAIST)・副教授)

九月七日

○医学史研究の最前線(2) 日本における本草書の評価―正倉院薬物等の調査から 発表者 米田該典(大阪大学大学院医学系研究科医史史料室・研究員)

○討論会「経穴とはなにか」

○思うツボ―経穴探しの手法と実践

○発表者 戸ヶ崎正男(蓬治療所・所長、日本伝統鍼灸学会・学術部長)

十月五日

○黄帝内経の新研究 発表者 真柳誠(茨城大学・教授)

一二月二一日

○中国喫茶文化考 発表者 関剣平(立命館大学・客員教授)

二〇一五年二月二二日

○東アジア伝統医学の源流 発表者 小曾戸洋(北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部部长、日本医史学会理事)

○朝鮮の郷薬伝統と『東医宝鑑』発表者 安相佑(韓国韓医学研究院責任研究員、前東医宝鑑記念事業団団長)

○韓医学の現状と発展の方向性 発表者 金南一(慶熙大学校韓医科大学学長)

○中国古医籍の日本の受容とその伝存本 発表者 真柳誠(茨城大学人文学部教授)

○『医方類聚』の刊行前後における朝鮮医学の諸様相 発表者 申東源(韓国科学技術院(KAIST)教授)

六月七日

○『胎産書』『十問』などの訳注を通して見えてきたもの 発表者 大形徹(大阪府立大学・教授)

○『医心方』に魅せられて 発表者 横佐知子

七月五日

○臨床医に生きた曲直瀬玄朔とその周辺発表者 葉山美

知子（鎌倉早見美容芸術専門学校）

○漢方薬の症例呈示、および雲海士流について 発表者

松岡尚則（財）研医学会

○舌診の歴史について 発表者 梁嶸（国際日本文化研

究センター・外国人研究員（北京中医薬大学基礎医学

院中医診断系・教授）

五、研究会情報（HP）

京都大学人文科学研究所 武田時昌研究室HP

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~takeda/index>

六、会発足の経緯と研究会の状況

この会は三年間の限定のもので、しかももう半分以上、過ぎてしまっている。そのことも考慮しつつ、ご紹介したい。

京都大学が外部にも開かれた大学であることを示すために、京大以外の研究者を班長として、三年間、研究班をたちあげて年間、十回程度の研究会をする、その費用は京大が負担するという制度がある。二〇一三年の九月に人文研の武田時昌教授が、来年度からの研究班の選定

をする会に出たところ、まったく応募がなかった。そのため、その選定は仕切りなおしとなった。そこで急遽、武田氏が、わたしをかついで応募することになり、運よく通ってしまったというのが、この会が生まれたきっかけである。

もともと私自身は、医療に関する論文も少しは書いている。

『山海経』の「山経」にみえる薬物と治療」「薬物から外丹へ―水銀をめぐる古代の養生思想」「『列仙伝』にみえる仙薬について」「本草と方士の関係について」「『神農本草経』の仙薬について」「気」系の病因論―張家山漢簡を中心として」「鬼」系の病因論―新出土資料を中心として」「胎産書・雜禁方・天下至道談・合陰陽方・十問」など、産科、房中に関するものである。

いずれも神仙思想や靈魂觀念の角度からみたもので、真正面から医学に取り組んでいる研究者が、あまり、注目しないものばかりである。

けれども、もしかすると、そういうもののなかにこそ文化的なものを見出せるのかもしれない。そしてそのことが、武田氏が、わたしをかつこうとした理由なのかもしれない。

これまで、先にあげたように医学・医療を中心としたさまざまな発表がおこなわれてきた。初回は美容からはじまった。一見、医学とは結びつかない。しかし、美容鍼灸は鍼灸治療の応用としてあらわれてきたものなのである。美容を病の観点でとらえることは難しい。美しくないことが病気であるはずもないので、医療とはいえないかもしれない。けれども、この医療の周辺に生まれ出てきたものは、いまや大人気で、鍼灸を志す人たちの大きな動機になっているのである。

毎回、参加者は五〇名をこえることもある。鍼灸・漢方などの東洋医学関係、中国哲学・東洋史などの中国古典関係などで、大学院生などのわかり人たちも多い。またわざわざ東京から足をはこんでくださる方も多い。それは、異分野の人たちがどう研究会では、思いもかけない考え方に接して新鮮な刺激を受けることが多いからであろう。それはまた自身の研究に反映させることができるのである。

また副班長であり、実質的に会を動かしている武田時昌氏の魅力も大きい。フレンドリーな性格で話も面白く、会のあとの食事会も楽しい。

みなさんの積極的な参加を期待します。連絡は、大形徹 ohgata728@gmail.com 高井たかね tan_takai@zimbun.

kyoto-u.ac.jp、または武田時昌氏 takeda@zimbun.kyoto-u.ac.jp におねがいします。

なお右の記述は、左記の報告書を参考にしている。

http://www.zimbun.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/2015/06/Agroun_ActivityReport_Ogata.pdf



第一回研究会での王財源氏の発表のようす